

文教福祉常任委員会

平成23年6月9日

午前9時30分開会

於大口町役場第1委員会室

1. 協議事項

1. 議案第36号 平成23年度大口町一般会計補正予算（第2号）（所管分）
2. 議案第37号 平成23年度大口町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
3. 議案第38号 平成23年度大口町介護保険特別会計補正予算（第1号）

2. 出席委員は次のとおりである。（7名）

委員長	岡孝夫	副委員長	木野春徳
委員	江幡満世志	委員	伊藤浩
委員	大島保憲	委員	土田進
委員	丹羽勉		

3. 欠席委員は次のとおりである。（なし）

4. 委員会条例第17条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	森進	副町長	大森滋
教育長	長屋孝成	健康福祉部長	村田貞俊
総務部長	小島幹久	生涯教育部長	近藤孝文
生涯教育部 参事兼 生涯学習課長	松浦文雄	戸籍保険課長	掛布賢治
福祉こども 課長	天野浩	保育長	中野幸子
健康生きがい 課長	宇野直樹	政策推進課長	社本寛
図書館長	熊崎哲也		

5. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	河合俊英	議会事務局 次長	佐藤幹広
--------	------	-------------	------

(午前 9時30分 開会)

○委員長(岡 孝夫君) 改めまして、皆様おはようございます。

定刻より少し早いようですが、始めたいと思います。

本日は文教福祉常任委員会をお願いしましたところ、皆様方には定刻にお集まりいただきましてありがとうございます。

当委員会に付託を受けましたのは3議案でございます。委員の皆様方には、慎重なる御審査をいただき、適切なる御決定を賜りますようお願いいたしまして、開会のあいさつといたします。

町長。

○町長(森 進君) 改めまして、おはようございます。

岩手県遠野市に拠点を構えました「大口絆つなぐネット」の活動が毎日届けられ、元気に支援活動に従事していただいているボランティアの皆さんの様子も知ることができ、けがのないように大口町に帰っていただくことを願っておるわけであります。

さて、6月6日の本会議で、先ほども委員長さんからお話がありました、文教福祉常任委員会に付託をされました3議案について御審査をいただくわけであります。よろしく願いをいたします。

また、引き続きの協議会においても、陳情書1件が用意されているようですので、引き続きになりますが、よろしく願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。どうぞよろしく願います。

○委員長(岡 孝夫君) それでは、ただいまから文教福祉常任委員会を始めます。

本会議において提案説明を受けておりますので、直ちに質疑に入ります。

議案第36号 平成23年度大口町一般会計補正予算(第2号)(所管分)を議題といたします。

質疑はありませんか。

(挙手する者あり)

○委員長(岡 孝夫君) 江幡委員。

○委員(江幡満世志君) 質疑というほどじゃないんですけど、ちょっとわからないところがあるので教えていただきたいんですが、総務部長に議案の説明をいただいたんですが、この款3.項1.社会福祉費、目4.福祉医療費についてなんですが、23年度の予算の中に、一般職3名と臨時職員2名ということで1,500万ほどの職員給与費というのが出ているんですね。それが新年度の予算案ということで3月の議会で可決されたと思うんですが、ここに補正予算として、職員給与費というのが1,700万補正予算として提示されているんですね。この内容的なことがよくわからないんですけど、何がわからないのかというのは、3月に新年度予算が組まれて、さらにその予算を上回るような職員給与費が補正で出てきているというのが、とても解せないんですね。なぜ3,000万とかそういう金額が3月議会の時点で可決されていないのか。それがちょっと不思議だったもんですから、毎年そんなような形

があるのかなと、ちょっと不思議に思ったんですが、御説明いただきたいと思います。

○委員長（岡 孝夫君） 政策推進課長。

○政策推進課長（社本 寛君） 江幡委員の御質問にお答えいたします。

当初予算につきましては、おおよそ1月の末ごろに積算をいたしますので、毎年そのときの状態の職員数で当初予算を組んでおります。その後、人事異動の素案をつくりまして、4月1日付で人事異動を行いますので、当初予算の積算のときとはずれが生じてまいります。そういったことで、今回補正をお願いをしておりますのは、4月1日の異動におきまして、後期高齢の連合会の方へ1名、それから保健師を1名、当初予算のときより増員をしておりますので、その関係で2名分の人件費をここで補正しております。以上です。

（挙手する者あり）

○委員長（岡 孝夫君） 江幡委員。

○委員（江幡満世志君） 初めてのことで、僕もよくわからなかったんですけど、人事異動分というのは、推測とかそういうのは、こういう町の予算立てする際というのはできないことなんですか。

○委員長（岡 孝夫君） 政策推進課長。

○政策推進課長（社本 寛君） もちろん推測ではできますけれど、推測して確定するまでの間にタイムラグがありますので、結果的にそこでまたずれれば補正をしなければいけないこととなりますので、したがって当初予算の段階では現状の職員体制で当初予算を組むと。その後に素案をつくりまして、いろいろ調整しまして最終確定するというので、どうしてもずれが生じてくるということでありませう。

○委員長（岡 孝夫君） 他にありませんか。

（挙手する者あり）

○委員長（岡 孝夫君） 大島委員。

○委員（大島保憲君） 本会議のときにお聞きしたと思うんですが、ちょっと理解できなかったものからお聞きしたいんですが、PCBの保管庫の新築に関連いたしまして、現在大口町が保管をしているPCBの廃棄物といいたいまいしょうか、その量の実態、安定器はどれぐらいあるとか、あるいはトランスはどれぐらいあるとか、そういう具体的な数値をどれぐらい保管されているかということと、それから、今後発生するものの予測というものがどれぐらいを想定されているか。

先日、本会議の中で、日本環境安全事業というところが、安定器についてはまだ受け入れをされていないというふうに御説明を受けましたが、その量とこれからの処理計画について、ちょっとお聞きをしたいと思います。

○委員長（岡 孝夫君） 生涯教育部長。

○生涯教育部長（近藤孝文君） 大島委員の御質問にお答えさせていただきます。

現在保管しておりますPCBの量で御報告申し上げます。

まず、これのための倉庫、現在、中央公民館の南側の駐車場の1区画に1基設けております。その中には、高圧コンデンサー2台、安定器、蛍光灯の安定器ですけど275台を中央公民館の保管庫に設けております。それから、大口中学校の体育館の機械室に変圧器7台、コンデンサー3台、計10台保管しております。それから、旧北部中学校にありました、これは北小学校への改修工事の際に発生したものですけど、コンデンサー2台、変圧器2台、計4台が旧北部中学校から発生し、これは中央公民館の方の、先ほど言いました保管庫に保管しております。それから、旧北小学校ですけど、変圧器を3台、現在のところ旧北小学校の敷地内に保管しております。

それから、今後発生するPCBの量ですけど、当然南小学校の校舎の解体をすれば、現在使っております変圧器、コンデンサー類のPCBが発生するのではないかと考えております。現在それを使っておっても、既設校舎が動いている間は解体できないということで、そのままにしておりますので、よろしくお願いいたします。

それから、今後の計画ですけど、今回補正予算にもお願いしましたように、まず中央公民館以外に保管しております、ですから大口中学校、それから旧大口北小学校に保管しておりますPCBを1カ所に集めるために、中央公民館に新たに倉庫を1基設置させていただきます。その設置に伴い、大口中学校と旧北小学校の変圧器、コンデンサー類を新しい中央公民館の倉庫に移設します。

その次に、大口中学校で保管しております10台のうち3台につきましては、規定外、0.5ミリグラム以下の不検出に近い判定をいただいておりますので、移設時に処分いたします。

次に、現在、中央公民館の既設の倉庫に保管しておりますPCBのものにつきましては、製造メーカーの製造番号に基づいて、とりあえず保管しているという状態でありますので、このとりあえず保管しているPCBについて、再度8台分測定をして、その測定の結果、処分もしくは保存という形になるかと思えます。

それで、今後の計画ですけど、この間も言いましたように、日本環境安全事業株式会社の豊田事業所の方にとりあえず申請をし、向こうが申請に対する許可証を与えてくれます。その際、本年度なのか来年度になるのかわりませんが、何台豊田事業所の方で処分できるかというお答えをいただいて、それに対し予算化をする。本年度であれば補正予算とする、来年度であれば当初予算にお願いするという形で、今後、南小学校のPCBが検出されて処分するまで、その作業が続くかと思えます。ですから、このまま順調にいけば、豊田事業所で処分できるPCBについては、25年ないし26年という形になるかなと思えます。

それと、蛍光灯の安定器については、やはり豊田事業所管内ではできません。北九州事業所でしかできませんので、かつ北九州事業所は愛知県は担当外ということで、現在のところ保管する状態がこのまま続くのかなあと。だけど、特別措置法の期限もございまして、それまでには国の方は何らか

の形を起こすのではないかなと思いますし、この間御質問がございましたように、町長も町村会の方でその旨御提案していただいて、改善していただくように進むのかなあというふうに思っております。以上です。

(挙手する者あり)

○委員長(岡 孝夫君) 大島委員。

○委員(大島保憲君) 今、御説明を受けましたように、豊田事業所というのは確かに安定器の受け入れは今のところできていないようでございますが、トランスですとかコンデンサーがある程度の処理が進めば、微量の安定器の処分も受け入れてくれる。それが法で決められた28年までということではないだろうというふうには思っておりますが、問題は、倉庫で保管するには、いろんな耐震性の問題とか、耐火性の問題とか、予想される東海沖地震とか東南海地震の対策もとれということになっておるようでございますが、そのところは、例えばトランスだとかコンデンサーなんかは、もし災害があったときに、そういうものに当然耐えられるような建物になるだろうと思っておりますが、具体的な保管庫の設計の内容については、当然法律の基準の中でつくっていくということになりますよね。

○委員長(岡 孝夫君) 生涯教育部長。

○生涯教育部長(近藤孝文君) 保管庫の形態まで国の方は求めてはいません。PCBが、蛍光灯の安定器であれば、金属製の缶に入れて保管しなさいとか、外部から第三者が安易に入れないように施錠しなさいとかというような要件はあります。あと、倉庫の外周に、この倉庫の中にはPCB廃棄物が保管されている旨の看板を設置しなさいという程度の縛りはあります。

今、大島委員がおっしゃったように、耐震云々ということまでは触れておりません。けれど、地震があった場合に、私どももそれは気をつけなきゃいけないことですので、積み重ねするだけじゃなくて、そういうものにも対応できるような配列というか、保管にしたいなと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○委員長(岡 孝夫君) ほかにありませんか。

(挙手する者あり)

○委員長(岡 孝夫君) 土田委員。

○委員(土田 進君) 地域密着型介護サービスをやっている「じゃがいも」さんですが、今回プリンクラーが設置をされるということになったわけですけど、これは非常にいいことだと思いますが、この建物は、皆さん御存じのように、旧民家を利用して施設が運営されていると思いますが、伝統工法の建物で、改造はされていると思いますが、安全基準は満たしているのかなあ。耐震基準はどうなのか、その点をちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長(岡 孝夫君) 健康生きがい課長。

○健康生きがい課長(宇野直樹君) 土田委員さんのおっしゃるとおり、改築をさせていただいており

ますので、その際に基準を満たす施工はしております。

○委員長（岡 孝夫君） 他にありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（岡 孝夫君） 質疑なしと認めます。

それでは、採決に入ります。

議案第36号 平成23年度大口町一般会計補正予算（第2号）（所管分）に賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（岡 孝夫君） 全員の方の賛成であります。よって、本案は可決すべきものと決しました。

次に、議案第37号 平成23年度大口町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（岡 孝夫君） 質疑なしと認めます。

それでは、採決に入ります。

議案第37号 平成23年度大口町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）に賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（岡 孝夫君） 全員の方の賛成であります。よって、本案は可決すべきものと決しました。

次に、議案第38号 平成23年度大口町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

質疑はありませんか。

（挙手する者あり）

○委員長（岡 孝夫君） 木野副委員長。

○副委員長（木野春徳君） 関連質問で申しわけありませんが、地域包括支援センターは、おととしまで町営でやっていました。去年からおおぐち福祉会へ移りましたけれども、一応施設的には今年の2月に完成して、それから今の場所で運営しているわけですが、その間の運営状況というか、利用状況というのはどういうふうになっていますか。

○委員長（岡 孝夫君） 健康生きがい課長。

○健康生きがい課長（宇野直樹君） 木野副委員長さんから地域包括支援センターの御質問をいただきましたが、御案内のとおり、ことし2月1日におおぐち福祉会の方で開設をさせていただきました。平成18年から平成21年度までは町の直営でやっておりましたが、平成22年度からおおぐち福祉会の方

に委託をさせていただきました。それで、22年度につきましては、やっとまとめができ上がってまいりましたので、また後日、委員さん方にもお配りをさせていただく予定でおりますが、特に高齢者の皆さん、要支援1、2の皆さんの相談事業が主な事業でございまして、数値的に申し上げますと、相談件数が平成20年度は約2,300件、それから21年度が約3,000件、22年度につきましては約3,800件ということで、相談が多いほど悩ましい問題もあるかと思うんですけど、着実に地域包括支援センターとしての役割を果たしていただいておりますというふうな今のところ見ております。以上です。

(挙手する者あり)

○委員長(岡 孝夫君) 木野副委員長。

○副委員長(木野春徳君) たまに、町営から民間の方へ委託されたときに、いわゆるちょっとしたトラブルだとか、そういうことがあるんだということを聞くんですけど、そういった状況はないわけですね。

○委員長(岡 孝夫君) 健康生きがい課長。

○健康生きがい課長(宇野直樹君) 大きなトラブルというのは私どもには入っておりませんが、常に連携を密にさせていただいて、ちょっと場所的には離れてしまいましたが、向こうの職員に健康文化センターの方へ来ていただいたり、相談事等、また私どもの方から指導等がございましたら、直接出向いてお話をさせていただいておりますので、今のところ順調でございます。

(挙手する者あり)

○委員長(岡 孝夫君) 木野副委員長。

○副委員長(木野春徳君) 健文の方から場所が移ったことによって、当初はそういう周知がなかなかできなくて、どういう方法がいいのかというようなことも言われていたんですけど、どちらにしても件数がふえているということは、利用者がふえているということはいいことだと思います。そういうことも含めて、あまりトラブルのないように指導なりをしていただくようお願いしておきます。

○委員長(岡 孝夫君) 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(岡 孝夫君) 質疑なしと認めます。

それでは、採決に入ります。

議案第38号 平成23年度大口町介護保険特別会計補正予算(第1号)に賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○委員長(岡 孝夫君) 全員の方の賛成であります。よって、本案は可決すべきものと決しました。

以上をもちまして、付託を受けました3議案の審査をすべて終了しました。

これをもって文教福祉常任委員会を終了いたします。

(午前9時53分 閉会)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

文教福祉常任委員会

委員長 岡 孝 夫